2015年7月10日号
リスクフラッシュ 214号

Risk Flash No.214
(Vol.6 No.12)

発行：滋賀大学経済学部附属リスク研究センター
発行責任者：リスク研究センター長　久保英也
〒522-8522　滋賀県彦根市馬場 1-1-1　TEL:0749-27-1404
FAX:0749-27-1189 **e-mail: risk@biwako.shiga-u.ac.jp**
Web page : http://www.econ.shiga-u.ac.jp/main.cgi?c=10/2

●論文紹介：Bid roundness under collusion in Japanese procurement auctions・・・・・・・Page 1
●リスク研究センター通信・・・・・・・・・・・Page 2

論文紹介

Bid roundness under collusion in Japanese procurement auctions

著者：滋賀大学経済学科准教授　石井利江子（いしいりえこ）
収録:Review of Industrial Organization

本研究は、過去に公共工事の入札で談合が摘発された市場のデータをもちい、公正取引委員会による摘発の前後の入札行動を比較することによって、入札談合が行われていると入札データにどのようなパターンが生じるかを分析したものです。入札談合では通常、談合組織のメンバーのうち入札に参加する予定の者が事前に連絡を取りあい、誰がいくらで落札するかを決めておきます。そして本番の入札では予定した通りの落札結果になるよう、落札予定者以外は許容範囲の上限に近い金額を入札します。このため、落札予定額は、談合メンバー間で共有されなければならないもっとも重要な情報です。本研究では、談合におけるコミュニケーションの失敗を防ぐ目的で、落札予定額は切りの良い数字が選ばれるのではないか、その結果、談合が起きているデータでは落札額が切りの良い数字になる傾向があるのではないかと仮説化しました。

メディアでも話題になった大規模な談合事件のデータを用いてこれを検証したところ、談合が活発だった時期では、落札額はそれ以外の入札額よりも切りの良い数字である傾向が見つかりました。このほかにも様々な統計分析を行うことによって、こうした傾向は談合と関連が深いことが認められました。

著者のつぶやき

企業行動をデータから分析する実証産業組織論の分野では、欧米を中心に構造推定という非常に高度な手法が花開いています。数年前に米国の学会に出席した時は、構造推定でない論文発表を探す方が難しいくらいでした。私もかつて構造推定に強烈に憧れ、何とかモノにしようと試みた時期がありましたが、難解な先行研究を理解するだけでどんどん時間が経ってしまい、学位を取り損ねそうになってあきらめたという挫折経験があります。

今回ご紹介した研究は、その構造推定とは対極的な研究です。私の研究者としての取り柄は、データを眺めていても飽きないという点なのですが、この研究はまさにデータを「ただ眺める」ところから生まれました。分析手法も、学部の統計学に毛が生えたような手法です。

構造推定への憧れはいまだ消えません。しかし、小さな子供たちを育てながら研究する私には、先駆的な手法を学び取る時間がありません。この論文が世に出たとき、「使えるものを使うしかない」と気づきました。当面はこのスタイルで細々と研究していく予定です。

リスク研究センター通信

滋賀大マルシェ～環境こだわり農産物直売市～のお知らせ

本日、平成 27 年 7 月 10 日(金)　11：30~13：30【小雨実施・荒天の場合は中止】
第 19 回　滋賀大マルシェ『環境こだわり農産物　夏の収穫祭』を開催します。
詳しくは、
http://www.shiga-u.ac.jp/wp-content/uploads/2013/02/sitigatu.pdf をご覧下さい。

「リスクフラッシュご利用上の注意事項」

本規約は、滋賀大学経済学部附属リスク研究センター（以下、リスク研究センター）が配信する週刊情報誌「リスクフラッシュ」を購読希望される方および購読登録を行った方に適用されるものとします。

【サービスの提供】
1. 本サービスのご利用は無料ですが、ご利用に際しての通信料等は登録者のご負担となります。
2. 登録、登録の変更、配信停止はご自身で行ってください。

【サービスの変更・中止・登録削除】
1. 本サービスは、リスク研究センターの都合により登録者への通知なしに内容の変更・中止、運用の変更や中止を行うことがあります。
2. 電子メールを配信した際、メールアドレスに誤りがある、メールボックスの容量が一杯になっている、登録アドレスが認識できない等の状況にあった場合は、リスク研究センターの判断により、登録者への通知なしに登録を削除できるものとします。

【個人情報等】
1. 滋賀大学では、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律（平成15年5月30日法律第59号）に基づき、「国立大学法人滋賀大学個人情報保護規則」を定め、滋賀大学が保有する個人情報の適正な取扱いを行うための措置を講じています。
2. 本サービスのアクセス情報などを統計的に処理して公表することがあります。

【免責事項】
1. 配信メールが回線上の問題（メールの遅延，消失）等によりお手元に届かなかった場合の再送はいたしません。
2. 登録者が当該の週刊情報誌で得た情報に基づいて被ったいかなる損害については、一切の責任を登録者が負うものとします。
3. リスク研究センターは、登録者が本注意事項に違反した場合、あるいはその恐れがあると判断した場合、登録者へ事前に通告・催告することなく、ただちに登録者の本サービスの利用を終了させることができるものとします。

【著作権】
1. 本週刊情報誌の全文を転送される場合は、許可は不要です。一部を転載・配信、或いは修正・改変して blog 等への掲載を希望される方は、事前に下記へお問い合わせください。
*尚、最新の本注意事項はリスク研究センターのホームページに掲載いたしますので、随時ご確認願います。
http://www.econ.shiga-u.ac.jp/main.cgi?c=10/2/3:12　）

＊当リスクフラッシュをご覧頂いて、関心のある論文等ございましたら、下記事務局までメールでお問い合わせください。

発行：滋賀大学経済学部附属リスク研究センター
編集委員：ロバート・アスピノール、大村啓喬、
菊池健太郎、金秉基、久保英也、
柴田淳郎、得田雅章、山田和代

滋賀大学経済学部附属リスク研究センター事務局
(Office Hours:月ー金　10:00-17:00)
〒522-8522　滋賀県彦根市馬場 1-1-1
TEL:0749-27-1404　FAX:0749-27-1189
e-mail:　risk@biwako.shiga-u.ac.jp